

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-266845

(43)公開日 平成7年(1995)10月17日

(51)Int.Cl.*

B 60 H 1/00
B 60 R 11/02

識別記号 103 A
府内整理番号 C 7146-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全3頁)

(21)出願番号

特願平6-80907

(22)出願日

平成6年(1994)3月28日

(71)出願人 000003595

株式会社ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号

(72)発明者 高儀 学

東京都渋谷区渋谷1丁目2番5号株式会社
ケンウッド内

(72)発明者 佐藤 博史

東京都渋谷区渋谷1丁目2番5号株式会社
ケンウッド内

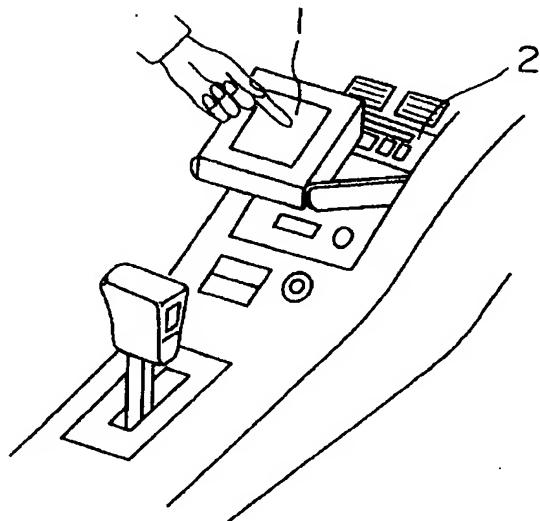
(74)代理人 弁理士 柴田 昌雄

(54)【発明の名称】 オート・エアコン操作機能を有する車載用テレビジョン

(57)【要約】

【目的】車載用テレビジョン1が使用状態の姿勢でオート・エアコン操作パネル2がその後ろに隠されていてもオート・エアコンの操作を可能とする。

【構成】車載用テレビジョン1のディスプレイ表面の上にタッチパネルが配置されている。タッチパネルからの信号はテレビジョン本体内に設けられた信号処理回路に入力される。また、オート・エアコン操作用の画面を表示させるための信号処理回路もテレビジョン本体内に設けられており、これらの信号処理回路は車両側の機器に接続されている。車載用テレビジョンをオート・エアコン操作モードとすると、ディスプレイにオート・エアコンの操作部が表示されタッチパネルのその部分を図に示すように指で押し信号処理回路から操作信号をオート・エアコンに出力させてオート・エアコンを操作することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ディスプレイの上にタッチパネルを配置すると共にディスプレイをテレビジョン画面表示と操作データ表示との兼用とし、前記ディスプレイに前記操作データが表示されているときに前記タッチパネルから入力された信号をオート・エアコン操作信号として出力することを特徴とするオート・エアコン操作機能を有する車載用テレビジョン。

【請求項2】前記車載用テレビジョンにオート・エアコンやハザードの操作および状態表示の信号線から分岐コネクターを介してその信号線を接続し前記ディスプレイをオート・エアコン操作データおよびハザードの表示に用いることを特徴とする請求項1のオート・エアコン操作機能を有する車載用テレビジョン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は車載用テレビジョンに係り、特に、通常のテレビジョンとしての用途の他にオート・エアコンの操作にも使用される車載用テレビジョンに関する。

【0002】

【従来の技術】車載用音響テレビジョンとして収納凹部の幅が180mm高さが50mmの1DIN収納型テレビジョンがある。1DIN収納型テレビジョンの取付け状態の例を図3に示す。

【0003】1DIN収納型テレビジョン3は薄型であり、車の収納凹部より引出した後、上に折り曲げて図に示すように表示面が見えるようにする。このようにテレビジョン使用中はそのディスプレイを立てるため、オート・エアコン操作パネル2がその後ろに隠れオート・エアコンの操作ができなくなる。

【0004】従って、オート・エアコンの操作をすることは、図4に示すように、ディスプレイを前に倒してオート・エアコンの操作をしなければならなかつた。このように従来の車載用1DIN収納型テレビジョンでは、使用状態としているときにオート・エアコン等の操作ができず不便であった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】この発明は上記した点に鑑みてなされたものであつて、その目的とするところは、ディスプレイが見える使用状態としたままオート・エアコンの操作ができる車載用テレビジョンを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明の車載用テレビジョンは、ディスプレイの上にタッチパネルを配置すると共にディスプレイをテレビジョン画面表示と操作データ表示との兼用とし、前記ディスプレイに前記操作データが表示されているときに前記タッチパネルから入力された信号をオート・エアコン操作信号として出力するも

のである。

【0007】また、前記車載用テレビジョンにおいて、前記車載用テレビジョンにオート・エアコンやハザードの操作および状態表示の信号線から分岐コネクターを介してその信号線を接続し前記ディスプレイをオート・エアコン操作データおよびハザードの表示に用いるものである。

【0008】

【作用】この発明の車載用テレビジョンによれば、ディスプレイの上に配置されているタッチパネルのディスプレイに表示された操作部を押すことによりオート・エアコンの操作ができるので、テレビジョンを倒す等の操作をする必要がなく便利である。

【0009】また、車のハザードの信号線を分岐コネクターを介して接続しておけば、危険を示す信号が出力されたときにウォーニングがディスプレイに表示され、テレビを見ているためにウォーニングの表示を見落とすことがなくなる。

【0010】

【実施例】この発明の実施例である車載用テレビジョンを図面に基づいて説明する。図1はこの発明の実施例である車載用テレビジョンの使用状態を示す斜視図である。図において、1はオート・エアコン操作機能を有する車載用テレビジョンであり、そのディスプレイ表面の上にタッチパネルが配置されている。

【0011】タッチパネルからの信号はテレビジョン本体内に設けられた信号処理回路に入力される。また、オート・エアコン操作用の画面を表示させるための信号処理回路もテレビジョン本体内に設けられており、これらの信号処理回路は図2に示すように分岐コネクター4を介して車両側の機器に接続されている。

【0012】図1は車載用テレビジョンが車の収納凹部より引出され、上に折り曲げて使用状態としたところを示しているが、この状態ではオート・エアコン操作パネル2がテレビジョンの後ろに隠れている。

【0013】従って、オート・エアコン操作パネル2を操作することはできないが、車載用テレビジョンをオート・エアコン操作モードとすると、ディスプレイにオート・エアコンの操作部が表示されタッチパネルのその部分を図に示すように指で押し信号処理回路から操作信号をオート・エアコンに出力させてオート・エアコンを操作することができる。

【0014】実施例に示すように、分岐コネクター4を介して車両側の機器に接続するようにすれば、オート・エアコン操作パネル2の接続コネクタを外して、分岐コネクター4に車両側、オート・エアコン操作パネル側およびテレビジョン側のコネクターを差し込むだけで配線が行われ車載用テレビジョンの取り付け作業が簡単となる。

【0015】また、分岐コネクター4を介して車両のハ

ザード信号線を接続し、ウォーニング信号が出力されているときに信号処理回路が表示画面を切り替えてウォーニングを表示させるようにすれば、テレビを見ているためにウォーニングの表示を見落とし事故が発生するという恐れがなくなる。

【0016】

【発明の効果】この発明の車載用テレビジョンによれば、ディスプレイの上に配置されているタッチパネルのディスプレイに表示された操作部を押すことによりオート・エアコンの操作ができるので、テレビジョンを倒す等の操作をする必要がなく便利である。

【0017】また、車のハザードの信号線を分歧コネクターを介して接続しておけば、危険を示す信号が出力されたときにウォーニングがディスプレイに表示され、テレビを見ているためにウォーニングの表示を見落とすことがなくなる。

【0018】また、分歧コネクターを介して車載用テレ*

* ビジョンを車両側の機器に接続するようにすれば、車載用テレビジョンの取り付け作業が簡単となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施例である車載用テレビジョンの使用状態を示す斜視図である。

【図2】同車載用テレビジョンの信号線接続図である。

【図3】従来の1DIN収納型テレビジョンの使用状態を示す斜視図である。

【図4】同テレビジョンを用いたときのオート・エアコン操作状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

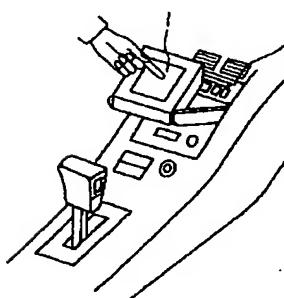
1 オート・エアコン操作機能を有する車載用テレビジョン

2 オート・エアコン操作パネル

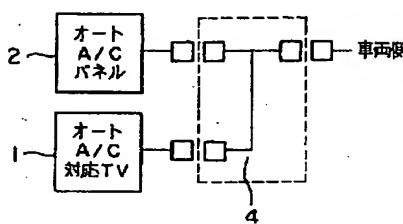
3 従来の1DIN収納型テレビジョン

4 分岐コネクタ

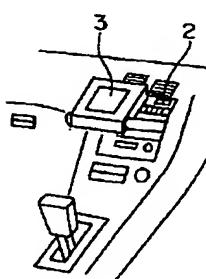
【図1】



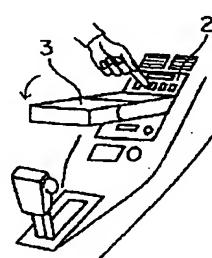
【図2】



【図3】



【図4】



BEST AVAILABLE COPY